



# Nuclear Posture Review

## 核態勢見直し

April 6, 2010

## 2010 NPR の情況

- **第3回目のアメリカの核政策及び態勢の包括的見直し**
  - 前回見直しは1994年及び2001年
- **国務省及びエネルギー省との密接な協議の上、国防省 (DoD) が主導**
- 「4年ごとの国防計画見直し」(QDR) 及び弾道ミサイル防衛見直し (BMDR) (2010年2月1日発表) の上に構築
- **アメリカ議会及び同盟国全体との密接な協議**

核の危険を削減するという大統領の課題実施のためのロードマップ

## 変化した安全保障環境へ対応

- **最も緊急な危険に焦点:核拡散と核テロリズム**
  - 国家横断的なテロリスト・グループが核兵器の獲得し使用しようとしている。
  - 国際社会に挑みかかる核兵器を追求する国家
- **地域的侵略を抑止するための地域安全保障機構の強化及び同盟国やパートナーの防衛に対するアメリカの関与による保証**
- **ロシア及び中国との戦略安定性の強化**
  - アメリカとロシアは依然として安定的抑止が必要とする以上の核兵器を有している。

“冷戦思考に終止符をうつ”

## **NPR 政策の骨格**

- 1. 核拡散と核テロリズムの防止 (予防)**
- 2. アメリカの核兵器の役割の削減**
- 3. 削減した核軍事力水準で戦略的抑止を維持**
- 4. 地域抑止力の強化と同盟国及びパートナーに対する保証**
- 5. 安全で安定しかつ効果的な核兵器撤の持続**

## 核拡散と核テロリズムの防止ー鍵となるイニシアティブ

- **核不拡散体制強化への国際的取り組みを主導する**
  - IAEAの安全保証手段 (safeguards) を強化そして条約遵守の実施
  - エネルギー省不拡散関連計画予算を25%増加 (27億ドルに)
- **すべての攻撃を受けやすい世界中の核物質を安全にする取り組みを加速**
  - 核物質の密輸を探知し禁止する諸能力を強化
- **第6条 (核軍縮義務) を含むNPTの義務にアメリカが関与することを再確認**
  - 新START、包括的核実験禁止条約、核分裂物質カットオフ条約
  - 検証された包括的国家研究開発計画
  - アメリカの関わり方を更新：大量破壊兵器を取得あるいは使用しようとするテロリストの努力を可能としたりあるいは支援する国家、テロリスト・グループ、あるいは非国家主体に完全な説明責任を求める」こと

## 核兵器の役割を削減する アメリカの宣言的政策

### 核不拡散義務を遵守する非核兵器保有国家に対応

- アメリカの「消極的安全保証」を強化
  - 「アメリカはNPT参加国でありかつ核不拡散義務を遵守する非核兵器保有国に対しては核兵器を使用したりあるいは核兵器で威嚇するつもりはない。」
  - もしこれらの国がアメリカやあるいはその同盟国やパートナーに対して生物化学兵器を使用したら破壊的な通常軍事力の予測に直面する。
  - もし生物学上の脅威が増すようであれば、アメリカは付加的保障の権利を留保する。

### 核兵器保有国及び遵守しない国家に対応

- アメリカは、アメリカ、その同盟国及びパートナーの決定的な利益を防衛する究極の状況においてのみ核兵器を使用しうる。
- これらの諸国にとっては、アメリカの核兵器が通常兵器あるいは生物化学兵器による攻撃を抑止するという役割を依然として演ずるかもしれないという緊急事態の狭い幅が残っている。

### 核兵器が存在する限り

- アメリカの核兵器の基本的役割は、アメリカ、その同盟国及びパートナーに対する核攻撃を抑止することである。
- 通常軍事能力を強化することは継続。非核攻撃抑止においては核攻撃の役割を削減。アメリカ、その同盟国及びパートナーに対する核攻撃を抑止するという目的は共通。これがアメリカの核兵器の**ただ一つの目的**である。

## 戦略的抑止の維持及び 核軍事力水準を引き下げた上での安定性の維持

- 新 START: 欠くべからざる次の段階
- 条約制限
  - ✎ キチンと説明できる戦略核弾頭 1550 (SORTより30%低い)
  - ✎ 配備戦略運搬手段 700
  - ✎ 配備及び非配備戦略発射装置 800 (STRAT より50%低い)
  - 新STARTの下での核三本柱は保持
  - 非多弾頭独立目標再突入ミサイル化 (de-MIRV)。一つのICBMに一つの核弾頭。クライシス・スタビリティの強化。
  - アメリカのミサイル防衛 (MD) は制限外。あるいは長距離通常攻撃能力は制限外。
- 核危機発生時の大統領決断時間を最大限にするための命令指揮管理システムに対する新たな投資を行う
- さらなる安定性と透明な戦略関係を促進するため、ロシアと中国との高いレベルでの対話を追求

## 地域抑止の強化とアメリカの同盟国及びパートナーに対する再保証

- **地域抑止を強化するため、同盟及びパートナーとの協働にアメリカは関わる**
  - 通常軍事能力、現場地域ミサイル防衛強を継続。及び反大量破壊兵器は対応能力を改善
- **アメリカとその同盟国に核の脅威が残る限り、鍵となる地域安全保障構造は核兵器部分を留保する。**
  - 戦術戦闘機や重爆撃機に搭載された、前線配備のアメリカの核兵器はその能力を留保する。
  - B61核爆弾の寿命延長はすべての範囲にわたって推進する。
  - 核弾頭海洋発射巡航ミサイル (TLAM-N) (核弾頭トマホーク)は退役。
  - アメリカの拡大抑止力の信頼性と効果を確認なものとするため、同盟国及びパートナーとの密接な協議を継続。

## 安全で安定しかつ効果的な核兵器敵を維持継続

- **アメリカの貯蔵管理の原理:**

- 核実験をしないー包括的核実験禁止条約批准を追求
- 新たな核弾頭もなし: 寿命延長計画」(LEPs) は、これまでテストされた設計にのみ使用される。新たな軍事的使命に対してはこれを支援しない。また新たな軍事的能力はこれを提供しない。
- 核弾頭研究の維持は、すべての「寿命延長計画」のアプローチを考慮しつつ、時と状況によって、選択的とする。
- 磨きをかけた再生あるいは再使用に対する強い選好 :核兵器部分の入れ替えは大統領特別許可を必要とする。

- **核兵器複合施設に対する投資を増強**

- 経年施設に重点
- 科学、技術、エンジニアリングを支援
- 国防省 (DoD)及びエネルギー省 (DoE)の鍵となる人間資本を採用及び留保
- 核への使命に焦点を合わせたリーダーシップの継続

## 行く手を見つめて: 核兵器のない世界へ

- 核不拡散及び核テロリズム防止に焦点を継続的にあてる
- 非核兵器抑止能力への依存を高めつつ、地域安全保障構造を強化
- 新STARTの批准・発効の後、さらなる大幅な核軍事力削減の達成を目標とした交渉を通じてロシアと関わる。
- ロシアとのさらなる削減に続いて、その他の核兵器保有国と、制限、削減そして世界からすべての核兵器を事実上廃絶しようとする多国間努力を通じて、繰り返し繰り返し、関わる。
- 核兵器が存続する限り、安全で安定しかつ効果的な核抑止力を維持継続する。